

学力向上推進地域 研究通信

平成 29 年 9 月 14 日
(八次中学校区研究推進地域 第 6 号)
研究推進教員 八次中学校 豊永政男

第 3 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめております。共有していただき、全教科・全職員での研修推進をよろしくお願ひします。

【第 3 回研究授業（数学）】 日 時：平成 29 年 9 月 7 日（木）
単元名：文字と式
指導者：八次中学校 山岡正明 教諭



★授業で提案した指導改善のポイント

学習課題：一貫性のある予習，練習問題，適応問題を設定する。
主体的に取り組ませるために，練習問題を選択式にする。
発問：解答よりもそこに至るプロセスを思考させたり表現させたりするために，考え方を説明させる発問をする。



研究協議

- 生徒が「できそう」と思える課題設定になっており，主体的に考えることができていた。
- 全国学力・学習状況調査の問題を用いており，最後の到達目標が明確であった。
- 生徒が繰り返し考え方を説明するなど，協同学習が活発であった。
- 通過率 30%未満の生徒が説明するのが難しく，型やモデルの活用があればよかった。

指導助言 <三次市教育委員会 学校教育課 新谷勝治 指導主事>

- ・文字式のよさに気づくことのできる授業であった。
- ・少し難しく，系統性のある学習課題が，自然な教え合いにつながっていた。
- ・「できる・わかる・やったらできた」という感覚は算数・数学の意欲につながる。
- ・研究の視点について，今後さらに具体的に指導案に記述し，その後の研究協議につなげる。

指導講話 「発問と学習課題の工夫を通した主体的な学びの授業づくり」

<広島大学大学院教育学研究科 吉田成章 准教授>

○本時について～「授業は教師と生徒の相互作用」という視点から～

- ・「説明はイヤ」という生徒の発言→不安・不満が出せる
- ・ノートを開いている，粘り強く友達へ説明→主体性を見る視点
- ・選択できる練習問題で難しい方を選ぶ
→ 子供の上昇志向の表れ（学力に関係なく）

○思考を深めるために

- ・「思考の足場（土台・アンカー）」をつくる。

本時では…文字式から規則性を見つける，同じ形を見つける図形認識など

- ・聞き上手の学力をつける。→協同学習の深まりへ

○家庭学習について

- ・予習を授業に生かす視点だけでなく，予習（復習）をしたくなる授業づくりへ

○HRについて

- ・帰りのHRで授業の様子について話す
(1日のうち1時間1つだけ具体的な児童生徒名で)

八次小中で育成したい資質能力の表れ



★どの教科にもつながる点（今後に生かしたい点）

- ①自然な学び合いにつながる学習課題の設定
- ②思考の足場（土台・アンカー）づくり
- ③聞く側を意識した協同学習の設定と指導